

令和4年度 小名浜港セミナーin東京 におけるご質問・回答一覧

No.	質問	回答
1	2022年6月に東港地区国際バルクターミナルが全面供用されたものの、長年の滞船状況に未だ改善の兆しが見えず、2022年度に於ける弊社の滞船料負担は過去最大となり非常に厳しい状況でございます。 自助努力の限界を超えた滞船状況が長期化する中、この対応策・改善策につき今後、小名浜港側としての具体的な内容がございましたら、ご教示賜れますと幸甚です。	現在、混雑している岸壁において、移動可能な船の他岸壁への誘導を進めております。引き続き、港湾関係者と利用調整を行い、混雑緩和に取り組んで参ります。また、港湾計画の見直しにおいて、混雑緩和に有効な対策を検討してまいります。
2	混雑解消をお願いします	
3	現在、深刻な状況となっているバルク船の滞船問題について、対応策・改善策を示すことが必要と考えます。	
4	危険物取り扱いのご予定があればぜひお願いしたいです。	国内消防法非該当の危険品であれば取扱いは可能です。 詳しくは(株)いわき小名浜コンテナサービス(TEL:0246-75-0210)までお問い合わせ下さい。
5	国内の陸運を減少させるべく、国内行の各所へ増便していただきたい	航路の新設、増便については、多くのご要望をお寄せいただいております。現在、船会社様、メガキャリア様へのご訪問や意見交換を積極的に行っており、航路の新設、増便を実現し、小名浜港がより使い勝手が良い港として皆様に御利用いただけるよう取組を進めてまいります。
6	内航船、どう復活させるのですか？	
7	屋根付倉庫が足りず、在庫商売ができない	倉庫に関しては、貨物の種類や量により、適切なものを御案内することが可能です。 詳しくは、(株)いわき小名浜コンテナサービス(TEL:0246-75-0210)までお問い合わせください。
8	現状のガントリークレーンが5段対応とのことですが、実際に5段荷役の例はなく、対応希望。	5段積については、事前協議の対象となります。東北地方の港湾では現状、仙台港だけが対応港となります。 小名浜港において対応するにはゴンドラ制作の上、事前協議を申請いただきますよう、お願いいたします。 また、小名浜港に寄港する航路の全ての寄港地にて5段荷役対応可能となる状況になった場合は、別途対応を検討させていただきます。
9	新しいクレーンを設置予定とのことですが、人員不足で荷役制限がある中で活用可能なのか。	新たな設備の有効活用を行うため、荷役体制については、今後関係者と協議を行いながら検討してまいります。
10	2023年4月～の助成制度があるのか、情報が欲しい。	次年度の助成制度に関しましては、これまで同様、実施してまいりたいと考えておりますが、5月ごろに開催する通常総会における議決に基づき決定となります。 引き続き助成制度を継続する場合、6月頃に情報を公開できると考えておりますので、今しばらくお待ちください。